

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都府】

学校名【京都府立鴨沂高等学校】

1 実践テーマ	【IV】
2 実施対象者	京都府立鴨沂高等学校 第3学年3組「京都文化コース」クラス 生徒34名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 京都文化の発信 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	外国の高校生や姉妹提携校のフランス「ジュールゲード国際高校生」との文化交流を通して、国際感覚やコミュニケーション能力を磨くとともに、「オリンピック・パラリンピック」に向けた国際文化交流や京都の伝統・文化の発信の在り方についてのモデルプランを提言する。
5 取組内容	(1) ガイダンス ① ガイダンスー目的及び年間授業計画についての概説。 ② 概要 ア 鴨沂高校とその周辺のガイドマップ・ガイドアプリ（日本語・英語版）を作成し、実際に外国の高校生やジュールゲード国際高校生にガイドを行う。 イ 異文化理解、多文化共生など、国際的な課題について考える。 ウ 取り組んだ内容の中から、各自テーマを設定し、個人研究論文を作成する。 (2) 「課題設定」 鴨沂高校とその周辺（京都御苑など）について、紹介・案内したいことについて考える。他の人のアイデアを参考に、各自テーマを絞る。 (3) 「調査・研究」 ① 各自テーマについて調べる。 ② 現地取材（「鴨沂高校内、京都御苑」）

(4)「校内ガイド・アプリ」「京都御苑ガイド・アプリ」作成
調べたことを基に、日本語・英語版のガイド・アプリを作成する。

(5)「相互評価」
外国の高校生へのガイドに向けて、各班概要発表後、相互に評価し、内容を修正する。

(6)「中国高校生との国際交流」(令和元年6月14日)

対象：紅河ハニ族イ族自治州第一中学 15名
元陽県第一中学 15名

- ① 事前学習—中国との文化交流について
- ② 中国高校生より文化紹介
- ③ 鴨沂高校京都文化コース生徒による校内案内
(生徒が作成したガイド・アプリ使用)



(7)「ジュールゲード国際高校との交流(文化発信・文化体験)」
(令和元年10月18~20日)

対象：ジュールゲード国際高校 18名

- ① 事前学習—フランスとの文化交流について
- ② ジュールゲード国際高校生より文化紹介
- ③ 鴨沂高校京都文化コース生徒による校内案内
(生徒が作成したガイド・アプリ使用)
- ④ 京都観光案内(京都御苑、金閣寺、北野天満宮など)



(8)「これからの文化発信・国際交流の在り方について学ぶ」
(令和元年11月22日)

日本の伝統文化(能楽)について学び、自文化の素晴らしさを世界に発信する。(能楽師河村晴久氏の講話・対談)

(9)「台湾高校生との国際交流」(令和元年12月9日)

対象：台湾桃園市立内壠高級中学 23名

- ① 事前学習—台湾との文化交流について
- ② 台湾高校生より文化紹介
- ③ 鴨沂高校文化コース生徒による校内案内
(生徒が作成したガイド・アプリ使用)



	<p>(10)「国際理解」(令和元年12月13日) 「異文化理解」「多文化共生」について考える。 ワークショップ「いのちの持ち物けんさ」を実施し、難民問題から国際的な課題について考える。</p> <p>(11) 京都文化発信成果物作成(個人研究) 研究論文(個人テーマ、英語サマリー等) 京都文化に関わる個別テーマに基づいた小論文</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 文化の祭典でもあるオリパラに向けて、京都文化や京都文化交流に関わるプログラムや成果物を発信することができた。 • 他国の高校生との交流を通して、国際交流のあり方や各国の文化について理解が深まった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 学校設定科目・特別コース授業を通じた文化発信に関わる取組。 • フランス姉妹校との持続的で一貫した国際文化交流プログラム。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 取組の成果の共有化に向けた発信や提言の為に外部との連携。 • 校内指導体制作り、活用事業等予算面などの活用。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 授業や学校行事等を通して、姉妹校や他国の高校との文化交流を実施する。 • 国際文化交流や京都の伝統・文化の発信の在り方についてのモデルプランを提言する。